

ニューイヤー駅伝！ 過去最高の2位

SUBARU 準優勝 2022

太田市に拠点を置くSUBARUが4時間52分9秒で過去最高の2位に入り、6位だった平成25年以来、9年ぶり2度目の入賞を果たしました。若手選手の強さと、頼れるベテラン選手の持ち味を生かしたチーム作りが実を結び、SUBARUが新たな歴史を踏み出しました。



県庁発着の100キロ。37チームが参加

実業団のナンバーワンを決める大会。1本のタスキをチーム丸となって運ぶ絆、区間ごとに繰り広げられる順位争いなどにより、大きな感動がありました。



5区照井選手(左)、4区清水選手(右)

エース区間の最長4区(22.4キロ)を走ったのは本県出身の25歳、清水歓太選手(県立中央中等出身)。区間新記録を出した選手と並走し、ハイペースで駆け抜けました。



ゴールテープを切る7区口町選手

駅伝アンカーに抜擢された口町亮選手。一時トップと6秒差まで詰め寄りました。「みんなの分まで」という思いを胸に走り抜き、2位でゴールしました。

おたよりコーナー



クロスワードパズル応募時に寄せられたご意見・ご感想を紹介しします

◆ 1月号を読んで、2040年の群馬県がどのような姿になっているのか楽しみになりました。私にも健康で米寿を迎えて、県民の一員として是非そのありさまを見るという目標ができました。そのためには積極的に社会参加し、病気とは無縁でありたいと思います。まずは健康が第一ですので、気に掛けて過ごそうと思います。(太田市 69歳)

◆ 東京2020オリンピックでソフトボール日本代表群馬県勢が県民栄誉賞を受賞した記事は大変うれしく、また誇らしく思いました。受賞決定は大英断だと思います！ゴールドポストの設置は全く知りませんでした。折を見て直接見に行ってみたいと思います。今後も一県民としてぐんま広報を楽しみにしています。(前橋市 53歳)

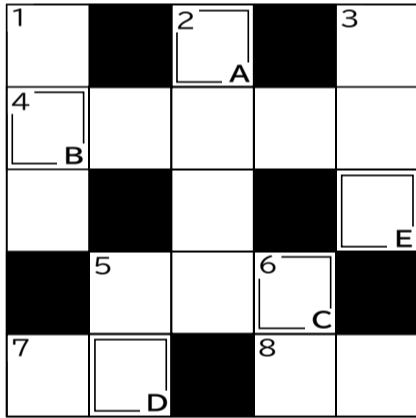
※掲載された人には、ぐんまちゃんぬいぐるみストラップをプレゼントします

県人口	1,923,841人(対前月:-1,121人)		
男	951,415人	女	972,426人
出生	1,047人	死亡	2,183人
世帯数	810,638世帯		
県移動人口調査 令和3年12月1日現在			
※出生・死亡は11月1日~30日			

抽選で賞品をプレゼント!

クロスワードパズル

正解者の中から抽選で「県有施設の無料ご招待券(2枚組み)」などを各5人にプレゼントします



答え：A~Eを順番に並べると?

A B C D E

たてのかぎ

- ある場所から他の場所へ移ること
- 自動車を用途や型などによって分けた種類
- 蒸したもち米、米こうじ、焼酎を混ぜて発酵し、ろ過して造る甘い酒。調味料として使われる
- 林や草原などに生息する日本の国鳥。童話「桃太郎」に登場する
- 早春、葉に先立って咲く白・淡紅色などの花。またはその果実

よこのかぎ

- 雨が激しく降ること
- 中国伝統医学の1つ。〇〇〇を据える
- スーパーマーケットや飲食店などで料金の精算を行う場所
- 目指すところ。物事の見通し

応募方法

はがき、ファクス、Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤年齢 ⑥今月のぐんま広報へのご意見・ご感想 ⑦希望の賞品名を書いてください(Eメールは件名に「クロスワードパズル2月」と記入してください)

応募先

- はがき 〒371-8570 メディアプロモーション課クロスワードパズル係
 - ファクス 027-243-3600
 - Eメール crossword@pref.gunma.lg.jp
 - 電子申請 <https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/>
- ※右図から読み取れます



応募期限

2月16日(水)消印有効
※ファクス、Eメール、電子申請は16日送信分まで

賞品

※次の中から希望のものを1つ明記してください
近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、カネコ種苗ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ぐんまちゃんトートバッグ、ぐんまちゃんグッズ、「ジャンポケロード」番組オリジナルステッカー、群馬交響楽団関連グッズ(クリアファイル5枚セット)
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

1月号の答えは「ハツヒノデ(初日の出)」でした。応募総数は2,136通でした。たくさんのご応募・ご意見をありがとうございました。

広告の内容に関する一切の責任は、広告主に帰属するものです。この広告内容を県が推奨・保証等するものではありません